

“震災復旧・復興に果たしている土木技術者の役割について今振り返る”
～今、ひとりひとりがどう市民に伝えていくべきか～

プログラム(案)

開会挨拶 16:00～16:10 公益社団法人土木学会東北支部 支部長 鈴木基行
(東北大学大学院工学研究科 教授)

趣旨説明 16:10～16:20 公益社団法人土木学会東北支部 副幹事長 河井 正
(東北大学大学院工学研究科 准教授)

基調講演 16:20～17:20 『復興・防災のため、土木技術への期待』
東北放送株式会社 代表取締役社長 一力敦彦氏

休憩 17:20～17:35

パネルディスカッション 17:35～19:25

<コーディネーター> 東北工業大学工学部都市マネジメント学科 教授 今西 肇 氏

<趣 旨>

東北地方では、多くの土木技術者が強い信念と責任感をもって震災復旧・復興に取り組んでいるところです。しかしながら、その一方で、土木を取り巻く環境が極めて厳しい状況下に置かれていることも事実であり、土木への魅力衰退から土木工学専攻学生の減少、一度土木を志しても他分野・他業界への就職、そして近年は離職率も年々増長していると言う話題も聞こえてきます。

背景には、多くの要因もあると思いますが、土木技術者が社会から正当に評価されていない、ということも真摯に受け止めることが必要かも知れません。

近年、豪雨災害をはじめとする自然災害が多発している我が国では、土木技術者が、市民生活に欠かせない社会資本整備と保全を担うのみならず、様々なレベルでの街づくりへの貢献等、非常に重要な役割を果たすことは、これからも変わらないことは事実であり、その事実を日々の行動できちんと、地道に国民・市民に伝えて行くことではないでしょうか。

本日のシンポジウムは、我々土木学会員が学術研究の枠を超えた中で、土木技術者が正当に評価されるためには、これからどのような行動をひとりひとりが取るべきかをテーマに、震災対応から得た経験と今後の防災技術に焦点を当てた中で考えてみたいと思います。

- ◆東北放送株式会社 代表取締役社長 一力敦彦氏
- ◆国土交通省東北地方整備局企画部 企画調整官 手塚寛之氏
- ◆一般社団法人建設コンサルタンツ東北支部 支部長
(株式会社復建技術コンサルタント 代表取締役社長) 遠藤敏雄氏
- ◆東北専門新聞連盟 理事長 (日刊建設産業新聞社取締役東北支社長) 川村 巖氏
- ◆鹿島建設株式会社東北支店 専任役・宮城大学 客員教授 加納 実氏

<会場からの質問と意見交換>

<まとめ>

閉会挨拶 19:25～19:30 公益社団法人土木学会東北支部 幹事長 李 玉友
(東北大学大学院工学研究科 教授)